

瀬戸内トラスト 24ヶ所のゴルフ場計画をストップ



1999年9月12日、産廃処理場に反対する豊栄町トラスト(広島県)はじまる。



豊栄町にはオオサンショウウオがたくさんすみついている

目次

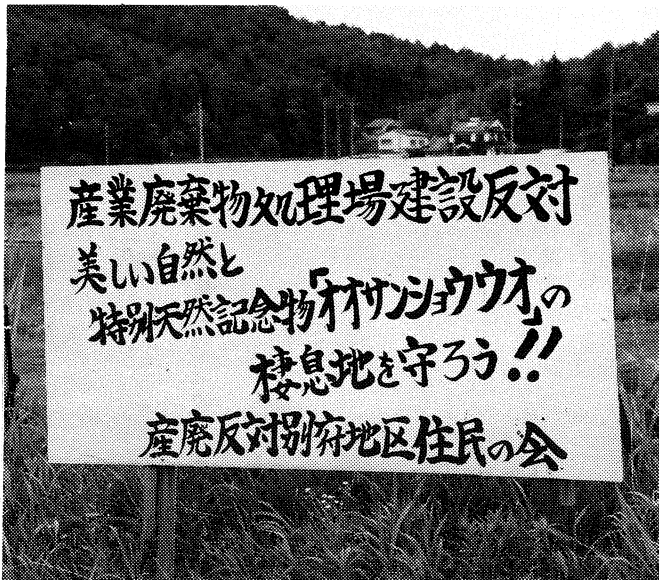
豊栄町の立木トラストはじまる (高盛宇吾)	1・2
豊島の生態調査始まる (前田俊英)	3
イボニシの生殖器に異常 (新聞記事)	4
瀬戸内トラスト9年目精査報告 (事務局)	5~7
第10回環瀬戸内海会議総会報告 (松本事務局長)	8~10

立木トラストはじまる(広島県豊栄町)

豊栄の自然を守る会 代表 高盛宇吾

「豊かな自然がいっぱいある。」

もうかれこれ10年にもなるだろうか。ふと手にした生協のチラシの投稿欄に目をやった。「まあ、みんな福富(隣接町)・豊栄へ来てみんさい。豊かな自然がいっぱいある。ほかにや、なーんもなあ。(無い)」云い得て妙に苦笑したものである。



あれから10年。めまぐるしく移り変わる世情の中で、豊栄町別府地区に、何時の間にか2つの産業廃棄物終末処理場が建設され、盛んに活動を続けている。そして今、3つ目の終末処理場が出来ようとしている。約6haの土地が買収され、目下、樹木の伐採が始まり、ひとかかえもある赤松が次々と切り倒され、杉・桧・樅等の針葉樹のほか、クリ・コナラ・アベマキ・カシ・クヌギ等の落葉樹もなぎ倒されて、痛々しい地肌を覗かせている。すぐ下の谷間に沿って流れる溪流には、国の特別天然記念物「オオサンショウウオ」や希少生物「カジカ蛙」が棲息しているというのに。虎の子の「豊かな自然」「いっぱいある筈の自然」もこうしていつとはなしに消えてゆくのであろうか。

なぜ別府地区に終末処理場が集中するのか

豊栄町は、広島県のほぼ中央(県央の町・人体になぞらえて「ヘソの町」と呼ばれている)標高350m~550mの賀茂台地の最北端に位置する。周囲を700~800mの山々に囲まれて、江ノ川水系・太田川水系の源流をなす。

豊栄町別府地区は、町の西北端、高田郡向原町との町境に在り、急峻な斜面に赤松林が広がる。溪谷を流れる清流は、全て三篠川に集まり、向原町を西進しながら、太田川と合流して広島湾に注ぐ。一方、別府地区の集落から流れ出る水は、小川となって、田畑を潤し、そして、町内の中心部を東進しながら、棕梨川となり、更に、沼田川へ合流して、三原市で瀬戸内海に注ぐ。別府地区は、この2つの水系(太田川・沼田川)の源流であり、分水嶺をなしている訳である。更に、南東斜面から僅か500~600mで集落に出られるのに対して、西北斜面から人家のある集落へは3.5~4kmも下がって行かなければならない。全く無人の山野が続くのである。



9月1日トラスト事前打ち合わせ
(右から佐藤さん・高盛さん・出井さん・阿部)

豊栄町側から県道豊栄向原線を少し登りきってとろとろと向原町へ下りかけたあたりこそ、産業廃棄物終末処理場建設の好適地である。その理由は、行政的には豊栄町の所管に属し、排水或いは汚染の被害は、かなり川下の向原町とその下流域に及ぶからです。すでに建設されている2つの処理場も、今から予定されている処理場も、みんなこの周辺に集中している。人々の批判と関心をうまくそらす何よりの手段であると考えられる。

立木トラストはじまる



9月12日(日)は、朝から好天に恵まれた。「いよいよ今日か」何か身の引き締まる思いにかられながら、トラストの木札と名簿を照合し、木箱に納める。東は東北の福島県・東京都から西は大分県・山口県・愛媛県、全国津々浦々から100名の方々の温かい善意・熱い想いに支えられながら、是非トラストを成功させたいと思いました。「それにしても今日の札かけには、何人ぐらい来ていただけるのだろうか」と、少々心配でもあったのです。

正午過ぎ、文化センターに出向いた。すると次々と車が入って、予定の時刻にはもう環瀬戸内海会議の阿部代表・実原さん・木村さんが来られ、続いて広島市の原戸さんとお連れの方々が続々と上って来られました。休む間もなく車に分乗して、別府の現地に向かいました。現地では、出井さんご夫妻をはじめ地元別府地区の方々が20~30名

も来ておられ、開会前には、40数名を数えたように思います。尚、後から続々来られたので総勢50名は超えたかもしれません。

出井さんの歓迎の挨拶、阿部代表の激励の挨拶、原戸さんの挨拶があって、全員坂道を下って、札かけの場所へ行きました。

当日現地で受け付けられたトラストが19枚もあったので、合計119枚の木札を、約30アールの山に掛けて歩いたのです。前日、佐藤さんと山の境を調べてビニールテープで境界線を確認してあったので、何も心配することなく、札かけを終えることが出来ました。最後に阿部代表の音頭で、天に届けと万歳三唱をし、大いに氣勢を挙げて解散したのです。

トラスト札を掛けたのは、予定地6haの中の僅か30アールの山林です。しかし、119本の木には、立派に立木権が確立し、産廃処理場反対の強い願いが込められています。私たち119名は、はっきりと産廃業者に「NO!!」の狼火を突きつけることができたのです。今、闘いはその堵についたばかりです。

紙上、誠に失礼ですが、寄せられた多くの支援と善意に心から感謝を致します。

「誠にありがとうございました。」

追記

其の後、1、2度現地に出向いたのですが、今の処、トラスト札には異常はありません。



豊島生態調査始まる

前田俊英（岡山市在住）

環瀬戸内海会議では、去る6月6日のアースディ in 香川当日、通称北海岸周辺で豊島生態調査の予備調査を実施しました。そこで見たものは、今では貴重な海浜植物、ナミキソウの群落と様々な海浜植物。これに元気づけられて、8月21・22日、藤岡義隆さん（公害をなくす呉市民の会）をはじめ6名程で本格的な予備調査を行いました。

これは、豊島の自然の現状をよりよく知ることで、未来の森の建設に活かしていきたいとして立案したものです。そして、今後の産廃処理の過程で、また時間経過の中で、この島の自然がどのように変わっていくのか、変わらないのかを知るためにも、まず現状を記録しなければと始めたものです。

また、この島を私たちが広く伝えていくためにも、「産廃の島」とは全く違った豊島を私たち自身が知ること、そして豊島の人々にも「こんなことが、こんなものが懐かしかったり、珍しかったりするのだ」という私たちのメッセージを伝えることから、次への一步を踏み出そうとするものです。

8月の調査では、まずは壇山の中腹で、昼食をとりながら簡単な打ち合わせをしようとするが、果樹園横の石垣に使われている泥岩の中に植物化石や貝化石・硅化木を見つけてはひとしきり地質談義。ここが、土庄層群の化石産地として有名？な島であることを再認識しました。

こうして始まった予備調査では、硯の浜でのハマニガナの花などの貴重な海浜植物の確認などとともに、産廃投棄現場周辺での、キキョウの花に心を慰めながらの断層の観察、イボニシの調査など多くの成果を上げ、夜には豊島の人々と、いつもの集会とはまた違った雰囲気の中で、この島の自然の豊かさについて歓談しました。壇山のスタジイの純林ではカゴノキの多さと大きさに驚いたり、水田の周辺ではメダカの多さに感心するうちに、調査を終えました。今後、この島を訪れる楽しみが増すとともに、一層詳しい調査の必要性を感じながら島を後にしました。

山陽新聞 7月2日

香川県・豊島の産廃不法投棄現場近くの海岸に、同県で絶滅の危機にひんしている海浜植物・ナミキソウ（浪来草）が自生していることが分かった。自然破壊にも負けず、かれんな花を咲かせている。見つかった自生地は、わずか一・五層四方。背丈十センチで、二層程度の細長い紫色の花を点々とつけている。調査した環瀬戸内海会議（岡山市）の三木雅博さんは「大変貴重な植物で、『ゴミの島』にも、豊かな自然がたくさんある」と訴えかけているように話す。

貴重な海浜植物ナミキソウ

県自然保護室も、自然の海浜が減り続けられ、県内のナミキソウは絶滅する可能性が大きいという。同室が近く作成に取り掛かるレッドデータブック（絶滅危う種、希少種のリスト）に記載されるのは確実とみられる。

自然破壊に負けず
かれんな紫の花

▼大量の産廃不法投棄現場近くで
花を咲かせるナミキソウ＝香川県土庄町豊島



香川・豊島産廃
不法投棄現場近く

イボニシの生殖器に異常

今治市沖の島しょ部

1999年6月29日
（愛媛版）朝日新聞

今治市沖の島しょ部で採取された七割以上のイボニシから、メスにペニスができる生殖器異常「インポセックス（雄性形質誘導及び生殖不全症候群）」

が見られることが、瀬戸内海全域の調査をしていた広島県市内の市民団体の調査で分かった。船の底や漁網の塗料に含まれる「有機スズ化合物」が影響している、と専門家から指摘されている。国立環境研究所（茨城県）が昨年、県内を除く瀬戸内海九地点で行った調査ではすべてがインポセックスで、その傾向が県内でも裏付けられた。

船や網の塗料影響

市民団体調査 瀬戸内海全域でも

調査をしたのは呉市の「公害をなくす呉市民の会」の藤岡義隆会長（66）。高松市で今年五月、海の生物について公開授業をしたのを機会に瀬戸内海の各地の調査を始めた。

市や倉橋町をはじめ、香川県坂出市、今治市沖の島しょ部など瀬戸内海の十五地点でイボニシを採取。貝を割って調べたところ、すべての地点でインポセックスが見つかった。その割合は、今治市沖の島しょ部で

採取した四十九個のうち一・四％にあたる三十五個、呉市長浜は三十三個中二十一個で六三・六％だった。

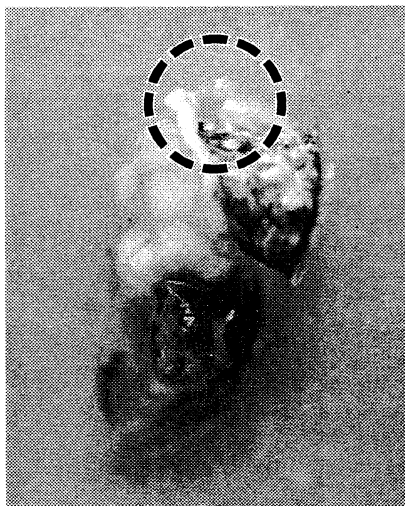
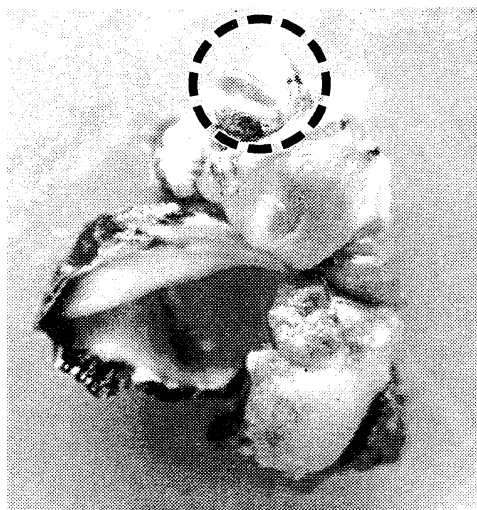
国内では一九九〇年に有機スズ化合物のうちトリブチルスズオキシド（TBT）の製造・輸入が禁止されたが、それ以外のトリブチルスズ（TBT）、十三種類）とトリフェニルスズ（TPT、七種類）は、国への事前届け出制になっている。米、英、仏でも八七年から八八年にかけて、TBT

とTPTについては、小型船舶（二十五トン以下）の船底塗料としての使用が禁止されたが、中、大型船舶は禁止されていない。

今治市沖の島しょ部は来島海峡にある。同海峡には外国船籍を含め一日平均九百五十三隻の船が通過し、千トン以上の大型船は一日平均百五隻（一二％）通航する。

藤岡さんは「瀬戸内海全体で汚染が進んでいる。今後は船の航行数が多い来島海峡の島しょ部を含めて観測している。」

イボニシ アクキガイ科の巻き貝。ニシとは巻き貝の総称で、イボのある巻き貝の意味。殻高約四〇ミリで、北海道南部から九州沿岸の岩礁に分布する。殻は厚く、表面は青灰色の地に黒色の大きなイボが並ぶ。岩礁や護岸の上・中部に生息し、肉食性でカキ類やフシソコ類を食べる。



●インポセックスのイボニシ。上部にペニス（丸印で囲んだ部分）と下部に丸い卵巣がある●イボニシの正常なオス。上部の突起がペニス（丸印で囲んだ部分）●イボニシの正常なメス。下部の丸みを帯びた部分が卵巣

瀬戸内トラスト 実施状況

環瀬戸内海会議

(1990～1999.10)

	場所	開発の種類	開始日	札かけ本数	計画	今後の契約	備考
広島県	加茂郡福富町	ゴルフ場	1990年	527	中止	継続考慮中	(注1) 林道計画あり
	双三郡三和町1	ゴルフ場	1990年	452	中止	継続	(注1) 養鶏場計画あり
	双三郡三和町2	ゴルフ場	1991年	220	中止	終結希望	
	加茂郡河内町	ゴルフ場	1990年	472	中止	終結希望	
	甲奴郡上下町	ゴルフ場	1990年	301	中止	済	
	三次市山家町	ゴルフ場	1991年	700	中止	終結希望	
	比婆郡東城町	ゴルフ場	1991年	325	中止	終結希望	
	高田郡美土里町	ゴルフ場	1993年	255	中止	済	
	高田郡高宮町	ゴルフ場	1991年	118	中止	済	
	高田郡甲田町	ゴルフ場	1992年	202	中止	終結希望	
	東広島市	ゴルフ場	1994年	72	中止	終結希望	
山口県	阿武郡田万川町	ゴルフ場	1991年	210	オープン	終結希望	トラスト地はずしのため
	熊毛郡平生町	ゴルフ場	1991年	(414)	中止	終結希望	
	柳井市伊陸	ゴルフ場	1991年	351	中止	終結希望	(注2)
	大島郡久賀町	ゴルフ場	1991年	536	中止	終結希望	
兵庫県	氷上郡市島町	ゴルフ場	1990年	(注4)(1330)	中止	終結希望	
島根県	益田市喜阿弥町	ゴルフ場	1991年	579	中止	終結希望	
	美濃郡美都町	ゴルフ場	1991年	(479)	中止	終結希望	
	能義郡伯太町	ゴルフ場	1991年	646	中止	終結希望	
岡山県	新見市	ゴルフ場		(56)		(注3) トラスト未実施	
	笠岡市走出	ゴルフ場	1991年	150	オープン	終結希望	トラスト地はずしのため
徳島県	三好郡池田町	ゴルフ場	1990年	200	中止	済	
香川県	木田郡三木町	ゴルフ場	1990年	167	中止	済	
	香川郡直島町	ゴルフ場	1992年	540	中止	済	
愛媛県	越智郡弓削町	ゴルフ場	1990年	1,453	中止	終結希望	
	越智郡弓削町佐島	ゴルフ場	1993年	744	中止	終結希望	
	中島みかんトラスト	ゴルフ場	1990年	474	中止	済	

[小計]

11,973

← 現地アンケート回答によるもの →

<立木バンク>

	場所	開発の種類	開始日	口数	計画	今後の契約	備考
広島県	福山市加茂町	産廃処分場	1997年	310	進行中	継続希望	
	東広島市	ゴルフ場	1994年	110	中止	終結希望	(上記トラスト地に同じ)
徳島県	三好郡池田町	一廃処分場	1994年	110	進行中	終結希望	
香川県	未来の森トラスト	産廃処分場	1996年	680		継続希望	

(注5) 1999年9月12日、広島県豊栄町にて [小計] 1,210

産業廃棄物処分場阻止の立木トラストを実施

<豊島未来の森トラスト>

	場所	開発の種類	開始日	口数	(注)
香川県	未来の森トラスト	産廃処分場	1996年	1,956	未来の森トラストは、4口で1本の木になります。

[総計] 15,139

<立木ボランティア>

金額	¥460,812
----	----------

8月18日～19日、初代トラスト事務局長 船木高司・二代目事務局長 原戸祥次郎・現事務局会計 木村伸樹・広島事務局員(藤井純子・小滝悦子・岸本久美子)・代表阿部悦子の7人が広島市において9年間の精査を行いました。この時判明した未処理分について10月までに札かけなど実施しました。

瀬戸内トラスト10周年にむけて精査を始めました。

9年間でゴルフ場計画24ヶ所を中止に追い込みました。

- * オーナーの皆様のご協力により、立木トラストは、立木バンク・立木ボランティア(終了)・豊島未来の森トラストと形を変えて現在も瀬戸内の開発や汚染に立ちはだかっています。
- * 去る8月には、9年間トラスト事務に係わった全ての人の同席のもと膨大な資料に基づいて精査を進め、10月までに未処理分のトラストを実施しました。(p.9・10総会報告参照)
- * 同時にトラスト現地には、アンケート調査の形で、現地の状況・今後の方針などを回答していただきました。

トラスト会計 1990-1998

		金額 (円)
収入	オーナーからの収入	
	立木トラスト	20,097,400
	立木バンク・	2,618,817
	立木ボランティア	
	未来の森	2,934,500
	合計	25,650,717
支出	現地支払分(事務費含)	
	立木トラスト	11,116,100
	立木バンク	948,000
	立木ボランティア	460,812
	未来の森	1,959,250
	現地事務費	752,600
	小計	15,236,762
	トラストに関する事務局経費	
	トラストニュース	4,677,118
	通信費	2,523,176
事務局事務費	3,331,055	
小計	10,531,349	
	立木バンク繰越	296,000
	合計	26,064,111

(注1) 立木トラストの2ヶ所は新しい開発計画があり、トラスト契約を10年後の来年からも続けたいと希望検討中。

(注2) 伊陸トラストは、現地の事情により札かけ未実施分を残していました。ゴルフ場の中止も確実となっており、オーナーは現地の人のみであるため、豊島未来の森トラストに使って欲しいとの会からのお申し出があった。

(注3) 新見トラストは、1990年9月に札かけが予定されていましたが、直前に現地の厳しい事情により中断。1991年初めに、新見トラストオーナーには、他のトラスト地への変更をお願いし半数以上が変更、50余本分が返事がないと思われることから保管、未実施のまま現在に至っています。現在では新見のゴルフ場もストップしており、オーナーの皆様のご希望をうかがい、現金の返却又は他のトラスト地への変更など、対処させていただきます。環瀬戸内海会議の不手際により対応が遅れたことをお詫びします。

(注4) 市島町のトラストと立木ボランティアのお世話をされた旧神戸事務局に預けた市島町・新見市・美都町・平生町の契約書が返却されておらず精査が滞っております。早く返却されるように今後も申し入れていきます。

(注5) この中には、オーナーからの契約書通知のないままトラスト契約を結ばなかったものも一部入っています。再度のご連絡に返事のなかったものです。もう一度お知らせして、立木バンクに変更させていただきたいと思えます。

一般会計 1990-1998

		金額 (円)
収入	会費・事業収入など	
	カンパ	1,058,768
	会費	2,392,000
	事業収入	670,000
	利息・その他	346,559
	合計	4,467,327
支出	会の活動費	
	交通費	1,433,159
	総会	690,835
	その他	1,067,425
	小計	3,191,419
	99年度繰越金	837,514
	合計	4,028,933

* 左記会計のようにオーナーの皆様から9年間にお送りいただいた金額は2,565万円にのぼり、トラスト現地に支払われた金額が1,523万円、事務経費が1,053万円(活動費は別)となっています。経費不足分は、カンパや会費収入に支えられて、9年間のトラストが継続してきました。

事務作業に係わった人々は「ボランティア」の「限界」と闘いながら、こみいった大量の作業をこなして下さいました。これらの作業が続けてこられたのも、瀬戸内の乱開発から自然を守りたいと寄せられたオーナーの皆様のご熱意と現地で厳しい開発反対の立場を貫かれた方々がおられたお陰だと思えます。皆さんほんとうにありがとうございました。

来年10周年には、瀬戸内トラストに係わって下さったオーナーの皆様方にご報告できるよう作業を進めていきたいと思えます。(文責 阿部)

立木トラスト現地からの声

〔アンケート回答から
一部をご紹介します〕

<p>三和町 立木トラスト (広島県双三郡三和町)</p>	<p>三和町2ヶ所のゴルフ場計画は、トラスト運動のおかげで中止となり、お世話になったこと感謝に絶えません。1ヶ所の方が60haも業者が土地を買収していて、そこが二転三転と問題になり現在大型養鶏場建設工事が始まっていて工事付近の地権者の方が困って工事反対裁判沙汰に発展しています。再契約については考慮中です。</p> <p style="text-align: right;">《三和町水と命を守る会 玉井泰子》</p>
<p>上下町 誰故草の里を守るトラスト (広島県甲奴郡上下町)</p>	<p>私達のトラスト運動は大変恵まれていたと思う。指導して下さった方々、現地のスタッフが充実していたこと等々。またマスコミの後押しも助かった。トラスト運動に出会わなかったら、環瀬戸のみなさんに出会わなかったら今日はなかったかもしれないとまで思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。私達はこのゴルフ場問題があったから、たくさんの人達と出会い、人生で求めても得られない多くのことを学んだ。今後10年を迎え当時とは情勢も変わった中、新しい方向性を私達の会でも考えています。</p> <p style="text-align: right;">《水と緑と命を守る会 実原進》</p>
<p>美土里町 トラスト (広島県高田郡美土里町)</p>	<p>立木トラストを実施してくださり本当に幸せでした。立木にプレートを取り付ける住民達がマスコミに流れ、知らない方々からの援助・出会いがありました。ゴルフ場建設賛成者の町議の方が「トラストをかけやがってのう」と悔しそうに言われたと聞きました。もうそれっきり推進の話しはありませんでした。トラストの威力を今でも会員の方と当時のことを笑顔で話せることを感謝しています。どうぞ今後も頑張ってお返しをさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">《生田川と自然を守る会 日野田晃》</p>
<p>自然と歴史を育む 平生・里山 トラスト (山口県熊毛郡平生町)</p>	<p>リゾートブームの中でトラスト運動の果たした役割は大きい。上関原発反対運動にも生かされている。自然を守るため開発の対抗手段として今後も生かして欲しい。</p> <p style="text-align: right;">《ふるさとの自然と文化を考える会 赤松義生》</p>
<p>柳井の水源を守ろう 伊陸 トラスト (山口県柳井市伊陸)</p>	<p>自然を愛する皆様のおかげでゴルフ場開発が止まりました。御礼申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">《伊陸の自然と水を守る会 山近勲》</p>
<p>美都町 の清流を守る かじかトラスト (島根県美濃郡美都町)</p>	<p>あの時代で一番よしと検討された立木トラストでとことん闘わせてもらいました。これしかなかったと思います。裁判でも、関係者の同意必要とトラスト者の権利を認めました。</p> <p style="text-align: right;">《矢原川水系の自然を守り健康で豊かな里づくりを考える会 弥重信子》</p>
<p>安住権を確立する 新見 トラスト (岡山県新見市)</p>	<p>新見トラストは、早くからゴルフ場阻止の決め手として、お願いしていたにも関わらず、地権者の親族の間で、土地を開発業者に売る売らないの争いが生じ、決めていた札かけ日の前日に中止をしてしまう等、環瀬戸内海会議・オーナーの皆様には大変申し訳なく思っています。一部土地は売られ、私の土地は、ゴルフ場設計の変更によってはずされて、私自身も落ち込み、失意の日々を過ごしたこともありましたが、その後97年3月、ゴルフ場計画は中止となったことを知りましたが、一部土地が売られていることにより、今日までトラスト希望を取り下げずに参りました。今後は廃棄物処分場計画などの可能性もあると思われます。私は定年退職後、無農薬有機農業で作物を育てながら山を守っています。日本の山を金に変えようとする人々が多くなれば国は滅ぶでしょう。厳しい事情でトラスト未実施のまま参りましたが、山が新たな開発に襲われたときには、是非、トラスト札かけ実施をさせてもらいたいと思います。お力添え下さった皆さんにお礼を申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">《上市地区自然環境を守る会 大本一巳》</p>
<p>直島町 ゴルフ場反対立木トラスト (香川県香川郡直島町)</p>	<p>田舎社会で結構苦しかったが、よい思い出となった。直島の将来にとって良いことをしたと自負している。これも阿部代表を柱とする環瀬戸の皆さんのバックアップがあったからなし得たと感謝している。</p> <p style="text-align: right;">《直島の水と自然を守る会 那須澄雄》</p>
<p>弓削町 歌仙草と野仏の島トラスト (愛媛県越智郡弓削町)</p>	<p>弓削は、瀬戸内トラスト発祥の地であることに誇りを覚えます。弓削のトラストが瀬戸内各地に広がり、また弓削島も、たくさんの現地からすばらしいエネルギーをいただきました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">《弓削町の自然を考える会 田中布由子》</p>

1998年度収支報告書(1998年4月1日～1999年3月31日)・1999年度予算案

収入

費目	収入額	備考	1999年度予算
前期繰越金	¥1,241,291	521312(普通), 8990(振込) 700000(定期), 10989(現金)	¥837,514
会費	¥652,000	団体5000×18口 個人2000×326口	¥750,000
カンパ	¥445,400		
事業収入	¥199,020	140000(絵はがき), 4000(活動資料) 55020(住民のみた瀬戸内海)	
立木バンク本会計繰入	¥126,700	700×181口	
未来の森トラスト本会計繰入	¥361,500		
未来の森シール本会計繰入	¥2,250		
受取利子	¥1,244		
合計	¥3,029,405		¥1,587,514

支出

費目	支出額	備考	1999年度予算
立木バンク 前期繰越金	¥239,200		
事務所費	¥420,000	今治(360000) 広島4・5月分(60000)	¥420,000
事務用消耗品費	¥34,903		¥50,000
通信費	¥182,684	電話・FAX(代表・事務局) 81584 切手代他 101100	¥180,000 ¥50,000
印刷費	¥56,887	イエローカード(46200), 他	¥0
トラストニュース	¥711,470	印刷費(365820) 15・16・17・18 発送費(345650)	¥500,000
総会費用	¥65,855	広瀬総会	¥50,000
交通費	¥96,287	代表(57867) 環境庁4回・弔問他 事務局(38420)	¥100,000
プロジェクト	¥83,935	瀬戸内法プロジェクト(17935) 旧神戸事務局(30000) ゴミプロジェクト・事務局長(36000)	¥50,000 ¥30,000
見舞金(弔問)	¥5,000	河村幹事	¥0
支払手数料	¥4,150		¥4,000
立木ボランティア植樹	¥210,000	尼崎市のグループハウス	-
その他	¥81,520		¥50,000
次期繰越金	¥837,514	700000(定期) (振込・その他)137514	¥103,514
合計	¥3,029,405		¥1,587,514

愛媛
岡山

立木トラスト・未来の森トラスト 収支報告

収入

費目	金額	備考
立木バンク 前期繰越金	¥239,200	800×299口
立木バンク 今期入金	¥271,500	1500×181口
未来の森トラスト 前期繰越金	¥0	
未来の森トラスト 今期入金	¥1,084,500	1500×723口
未来の森トラスト シール等	¥4,500	
合計	¥1,599,700	

支出

費目	金額	備考
立木バンク 執行分	¥88,000	800×110口 広島県福山市広瀬地区
立木バンク 次期繰越金	¥296,000	800×370口
未来の森トラスト 豊島分	¥723,000	1000×723口
未来の森トラスト シール等	¥2,250	
本会計繰入 立木バンク	¥126,700	700×181口
本会計繰入 未来の森トラスト	¥361,500	
本会計繰入 未来の森シール	¥2,250	
次期繰越金	¥0	
合計	¥1,599,700	

(総会資料に一部訂正があります)

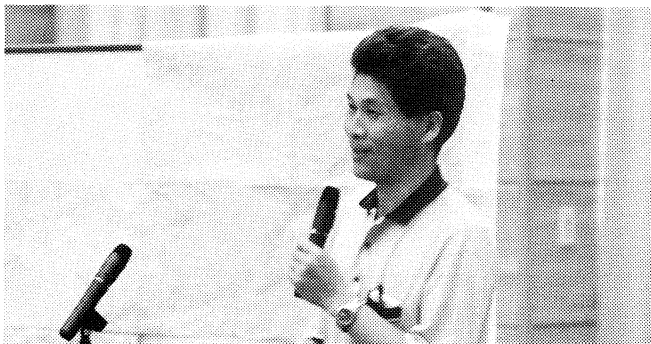
環瀬戸内海会議第10回総会開かれる (6月12・13日愛媛県今治市)

— 環瀬戸10年 これからの瀬戸内海 —

環瀬戸内海会議10周年記念集会

今年で結成10年目に入った、環瀬戸内海会議は6月12日～13日、今治市において10周年記念集会、そして第10回総会を開催しました。

瀬戸内海の環境を考える上で象徴的存在であった織田が浜があり、「瀬戸内三橋時代」と大々的にうたわれ、そして今「しまなみ海道」と喧伝される尾道・今治ルートの四国側起点で21世紀の瀬戸内海を考えようと、瀬戸内海沿岸各地から集会に集いました。



記念集会では、広島市の写真家、脇山功さんが、今瀬戸内海の海の中で何が起きているのか、各地の海の現状を自ら撮影したスライドを用いて報告し、環境指標となる「カメノテ」の瀬戸内沿岸各地での定点観測を呼びかけました。

そして、直前の統一地方選、香川県議選で豊島から立候補し、まさに奇跡的な勝利をもぎ取った石井亨さんが、豊島の現状を報告し、今もって香川県が責任と謝罪を認めず、公害調停が停滞しているとして、県の姿勢を変えるために議会内外からの運動への参加を力強く訴えました。続いて、各地から海砂採取問題、相変わらずの島のリゾート開発構想、放置されたゴルフ場開発、南宇和海の真珠養殖のホルマリン被害などが報告され、豊島の不法投棄産廃はもとより瀬戸内海の現状が決して楽観できるものでないことを改めて認識させられました。

また、昨年来の環境庁の見直し作業でも「現行追認」となった瀬戸内法について、その抜本的改正＝埋め立て、海砂採取、産廃処理に対する規制強化をめざし、今回市民立法として瀬戸内法改正案(素案)も提案されました。より広範な市民の中で本格的な議論をすすめる「たたき台」となることを期待したい。

環瀬戸内海会議第10回総会 立木トラスト会計精査を決定

第10回総会は、本会顧問、山田國廣氏の講演で始まりました。山田氏は、ネイティブインディアンの発想として「生命地域」を紹介し、都市と地域の関係すなわち都市住民と地域住民のつき合い方、地域の伝統や文化に即して生きること、「再棲」をキーワードに、流域を越えた瀬戸内海の存在を再認識するとともに、都市と地域の交流を育み、地域の環境資源の持続に果たしてきたトラストを評価しました。そして、存在の豊かさとして瀬戸内海に「意味づけ」していくことが、必要かつ世界的普遍作業であると訴えました。

総会では、まず昨年度の活動報告ならびに決算が承認されました。以下、第10回総会において決定したことを報告します。

(1) 立木トラスト会計精査報告について

10年目に入る立木トラストの会計について、これまでの精査内容が報告された。トラスト申し込み本数と実施本数の若干の食い違いについて、募集したが地権者と本会との立木売買契約不成立によりトラストが実施できなかったり、申し込みが特定地に殺到し募集本数を上回ったりし、他のトラストへの振り替えの了承を受けられなかった、あるいはあるトラストの募集終了時点での端数の申し込みが未実施となってしまったために生じたものと判明した。報告を受けた後、議論の結果、以下を決定した。

1. その原因として、トラスト募集の初期にトラスト事務を一手に引き受け、多忙を極めた広島事務局に全てを託した、またそうせざるを得なかった私たち環瀬戸内海会議の力量不足を認め、率直かつ真摯に反省する。
2. 募集に快く応じ、ともにゴルフ場乱開発を止めようとしたトラスト申込者の思いに、最後までできる限り応えていく。
3. 未実施のトラスト申し込みについては、トラスト現地と連絡を取り、トラスト継続中のところは即刻実施する。
4. 現地で実施不可能ならば、申込者と連絡し、

お詫びの上、他のトラストへの振り替えをお願いし、振り替えの了承が受けられないときは、申込金を即刻返還する。(今後も精査をすすめていく)

(2) 会則改正について

前回、第9回総会において暫定的に承認され、今総会に再提案を求められていた会則改正案について、以下のとおり提案、承認された。(改正部分のみ掲載)

第三条<目的>

本会は、瀬戸内海のかげがえのない自然を育み、豊かな自然を後世に伝えるためゴルフ場・リゾート開発、その他の乱開発をストップさせ、循環型社会への転換をめざす。

第五条<会 員>

本会は、本会の趣旨に賛同する団体・個人で構成する。

1. 瀬戸内海沿岸およびその近隣都府県において活動する団体を団体会員とする。
2. 個人の資格で参加する者を個人会員とする。

第十一条<役員会>

役員会は、代表が召集する。

第十二条<総 会>

1. 総会は本会の最高意志決定機関である。
2. 総会は代表が召集し、毎年一回開催する。
3. 臨時総会は、役員会が必要と認めたとき、代表が召集し開催する。

第八条<監 事>は「監査」と読み替える。

(3) 役員・監査の一部変更について

役員会として、役員会の実働力・行動力を強化していくことが要請されており、それに応えていくことが、環瀬戸内海会議の果たすべき責任のあり方と判断したとして

役員・監査の一部変更を提案し、以下のように変更が承認され、就任を快諾していただいた。

退任

幹事 河村保郎(山口・逝去) 鮎貝真道(山口)
台典子(福岡)

監事 前田俊英(岡山) 福崎裕夫(広島)

新任

幹事 前田俊英(岡山) ニュース編集担当として
吉田徳成(広島)

監査 小西良平(岡山) 坂永年弘(広島)

ただし、その任期はいずれも来年の総会までとする。

顧問 古沢 昭(広島) 今年度発刊の国会編著による書籍編集担当として

(4) 今年度活動方針

1 トラスト会計精査について

来年10月以降相次いでトラストの契約期間が満了となっていくにあたり、トラストを実施してきた現地にアンケート調査をし、現状を把握するとともに、現地の要望に応じていく。同時に、契約者には礼を尽くし一層の協力をお願いする。

2 豊島問題への取り組みについて

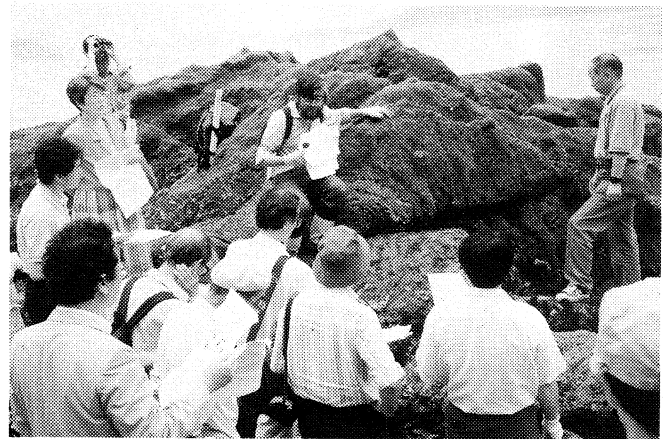
豊島産業廃棄物不法投棄問題の真の解決のために、そして島の再生のために「豊島・未来の森」を機軸にして引き続き活動を進める。

最終合意後の処理を視野に入れ、豊島の自然環境の現状を把握し中間処理過程の監視のために生態調査を実施し、豊島住民とともに継続した調査のための態勢を整備することをめざす。

アースディかがわ実行委員会の取り組む「瀬戸内海の汚染防止と豊島問題の正しい解決を求める署名」に積極的に取り組む。

3 瀬戸内法改正にむけて

瀬戸内法の改正強化にさらに取り組む。瀬戸内法プロジェクトでこれまで積み重ねてきた議論をふまえ、市民立法として改正法案の提案をめざす。



以上の決定をして盛会のうちに総会を終え、馬島の海岸での調査・観察会へと移りました。

(事務局長 松本宣崇)

豊島へ行こう！！ 11.23 秋の豊島集会 ～豊島を歩こう・見よう・体験しよう・実感しよう～

集会日程

10時 豊島家浦・豊島小学校に集合
開会挨拶・個別行事説明
産廃不法投棄現場視察・豊島未来の森植樹
と手入れ・サイクリング・豊島探訪ハイキ
ング・探鳥会・フリーマーケット・
体験コーナーなど（昼食は各自ご自由に）
14時 全体交流会（豊島小学校体育館）
16時 エンディングコンサート（豊島交流センター）
アクセス
<岡山経由> 岡山駅→宇野駅 宇野港→家浦港
7:32 8:23 8:35 9:15
または 9:39 10:34 11:10 11:50

帰りは、家浦港発 16:40、岡山駅着 18:43
<高松経由> 豊島ネットチャーター船
高松北浜港 家浦港
8:30 9:30 (8:00 受付開始)
帰りは、家浦港発 17:00 高松北浜港着 18:00
主催 豊島活性化プラン推進協議会・環瀬戸内海会議
豊島は私たちの問題ネットワーク(豊島ネット)
問い合わせ
岡山 松本 TEL&FAX 086-232-4561
または TEL 086-243-2927
高松 豊島ネット臨時事務局
TEL&FAX 087-861-0655

緊急 豊島問題の署名は、
11月末日必着で下記までお送りください。
〒760-0017 高松市番町2-4-15
FAX 087-821-8010

豊島未来の森トラストを支援する CD 発売中

高松市在住のアマチュアフォークシンガーのみよししんじさんが、豊島の産業廃棄物不法投棄現場の現状回復を進める取り組みである「未来の森トラスト」運動を支援するCD「生まれてきた子どもたちへ」を制作しました。CDのタイトル曲「生まれてきた子どもたちへ」は、豊島の産廃現場を訪れたときに受けたショックを何とかして、伝えたい、知らせたい、そして未来を担う子どもたちに美しい自然を残したいという想いがこもった曲です。タイトル曲の他に4曲が収録されており、いずれもギターとハーモニカによる本格的かつ魂を感じる曲になっています。価格は、1,500円で、収益金は「未来の森トラスト」へという申し出をいただきました。すでに先日、その第一弾として10万円の送金をいただいています。

問い合わせ：DIGITAL MERON
087-823-8681 (pm8～)
みよし しんじ (090-2824-7796)

事務局より

香川県知事にイエローカード1,500枚

香川県の真鍋知事は、6月7日の記者会見で「約1,500枚のイエローカードが届いています」と明らかにしました。知事の姿勢に変化はありませんが、“サッカーなら1試合2枚で退場となる”などと新聞にも書かれました。みなさん、ご協力ありがとうございました。

豊島未来の森トラスト・立木バンクに さらなるご協力を

豊島未来の森トラストは、これからがいよいよ正念場。皆さまのさらなるご支援をお願いいたします。そして、広島県の豊栄町では、産業廃棄物処分場をめぐって、新たなトラストが始まりました。こちらにもどしどしご協力ください。

新入会員募集と1999、2000年度 会費納入のお願い

環瀬戸内海会議では、個人・団体会員を募集しています。立ち木オーナーの皆さんぜひ会員になって下さい。瀬戸内海の豊かな自然を未来に引き継ぐために。会員の皆さん、団体会員の皆さん、会費の納入をお願いします。